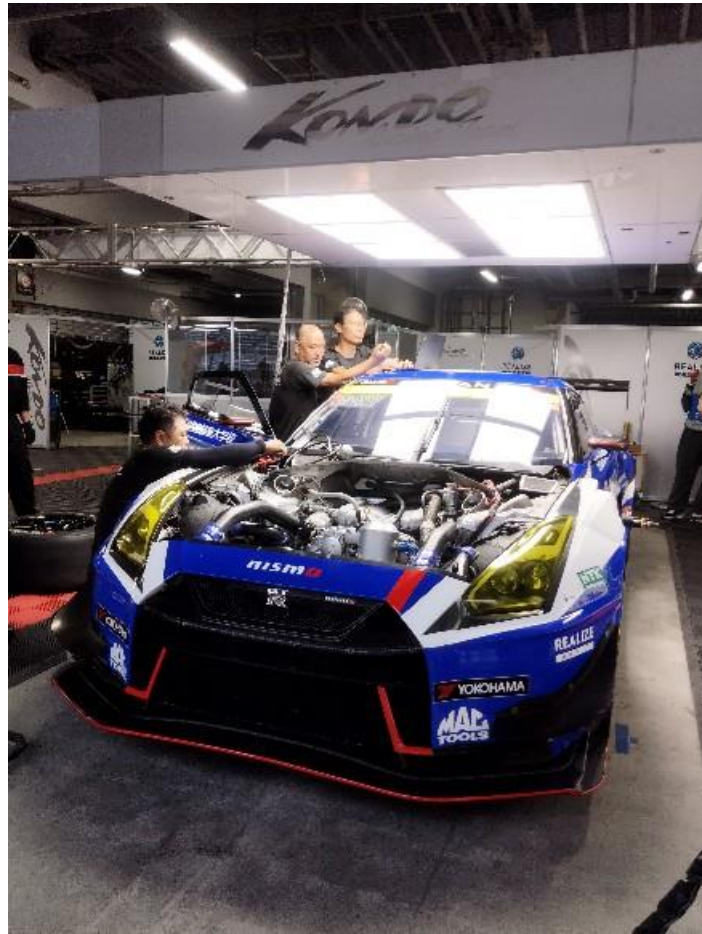


2023 AUTOBACS SUPER GT

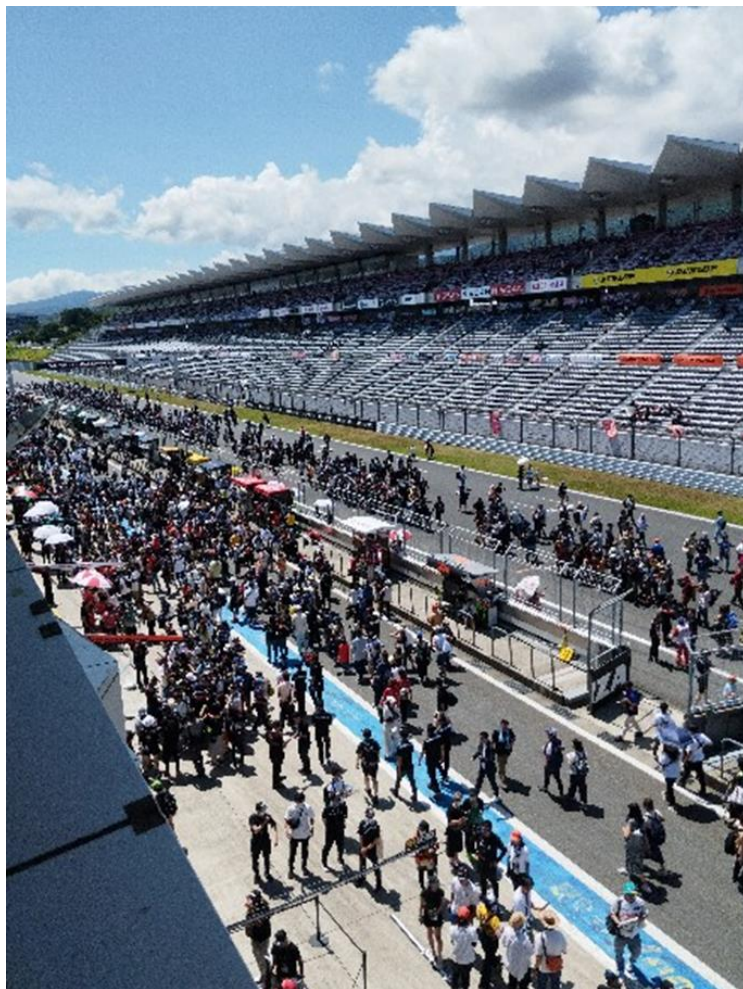
FUJI GT 450km RACE



NISSAN REALIZE GROUP YOKOHAMA PITWORK 日産車体 Logisnext UD TRUCKS ALTA PREMIER Assist
 株式会社ゼロ 日産モータースポーツ&カスタマイズ ROCK PAINT 5YEARS COAT Quick Pro Paint パーフル クロステクノロジー Energywith TOPPAN NGK NTK MAL TOOLS
 KAWANO 3000 BOSAI CO.LTD. Takara SUNTORY pepsi Döff LSI GT LS KSB D.R.M. puma 日産東京 日産大阪 日産プリンス栃水
 埼玉日産 日産プリンス埼玉 神奈川日産 日産プリンス神奈川 岐阜日産 日産プリンス三重 愛知日産 日産プリンス名古屋 京都日産 兵庫日産 愛媛日産 日産福岡
 鹿児島日産 帯広日産 日産サテリオ弘前 秋田日産 日産プリンス秋田 福島日産 群馬日産 長野日産 松本日産 日産サテリオ埼玉 千葉日産 日産プリンス千葉
 日産自動車販売 静岡日産 日産プリンス静岡 浜松日産 和歌山日産 日産プリンス和歌山 香川日産 日産サテリオ佐賀 長崎日産 日産プリンス長崎
 青森日産 岩手日産 日産プリンス岩手 日産プリンス宮城 栃木日産 日産サテリオ新潟西 甲斐日産 日産プリンス山梨 日産サテリオ千葉 日産サテリオ湖南 日産サテリオ富山 石川日産 三重日産
 日産プリンス兵庫 日産サテリオ岡山 日産プリンス広島 日産プリンス山口 日産プリンス大分 宮崎日産 日産サテリオ宮崎 K&D

～はじめに～

2023年8月5日から6日にかけて、スーパーGT第4戦富士450kmレースが開催されました。日産横浜自動車大学校も、NISSAN MECHANIC CHALLENGEとして16人の学生がレースに参加しました。このレースレポートでは参加した広報班が実施したドライバー&監督のインタビューをお届けします。



～予選結果～

5日に行われた予選。天気は晴れ。

90kgという非常に重いサクセスウエイトのなか、見事な走りで予選 Q1 の A 組を 7 番手で通過した JP・デ・オリベイラ選手 (Time 1 分 37 秒 869) は名取選手へとバトンを繋げた。

この走りに応えるかのように、名取選手もオリベイラ選手より

0. 527 秒早い (Time 1 分 37 秒 342) 堂々の走りで 10 番手を獲得し、決勝へと弾みをつけた。



～決勝結果～

前日の暑さはどこへ行ったのか、黒い雲に覆われた決勝日。

段々と怪しくなってくる空と共に、波乱の幕開けとなった。

スタート前に降り出した雨の影響で、真夏の富士で毎年恒例となっていた、

フライトパフォーマンスは中止。

パレードランも中止となり、セーフティカー先導によるレーススタート。

スタートのみならず、レース中盤でも 300 クラスの他チーム車両で火災が発生する

トラブルなどがあり、大いに荒れた展開となった。

そんななかでも着実に順位を上げていった 56 号車は、90kg のサクセスウエイトをも

感じさせない圧巻の走りで、4 位という好成績を収めた。



～近藤真彦監督～

Q. 活動初期の頃(S耐を含む)と比べ、学生に対する思いに変化はありますか？

ありますね。活動を始めた頃は、何をしたいかわからず、自分から動き出せない学生が多かった印象です。でも最近の学生は、ピットにしてもこのようなインタビューにしても、事前にしっかりと準備をしてくるので、
そんなことまでやってくれるの！？と
こちらが驚くくらいよく動いてくれます。
勉強してる学生が多いなと思います。



～JP・デ・オリベイラ選手～

Q、プロドライバーとは？

とても大変な仕事だと思います。

ドライバーには、集中力とモチベーションが

求められます。トップに立つことが出来ても、

それを続けることは非常に難しいです。

トップであり続けるには、集中力と

更なるモチベーションを見つける必要が

あります。



～名取鉄平選手～

Q. プロドライバーとは？

他人に影響を与えられることだと思えます。SUPER GTでは勝つとウエイトを積まなくてはならないですが、そんななかでも毎戦しっかりとポイントを持ち帰ることや、走り以外の面でも誰かの手本になれるような人がプロドライバーかなと。いつかは近藤監督やオリベira選手のようなカッコいい人に僕もなりたいですね。

～広報班感想～

～3日間の活動を通して～

横浜校では初めての試みとなった広報班としての活動でしたが、さまざまな方々のご協力により、無事3日間やりきることが出来ました。

合計で16名という決して多くはない人数のなかで、ひとりひとりの役割は非常に大きく、この人数だからこそ学べたことも多くありました。コミュニケーションや報連相の重要性、自ら考えて行動できる行動力など、人としても成長出来た部分も大きく、この経験はこれからの人生においても非常に大きな糧になると思います。

今回は動画の方にも力を入れ、学生にフォーカスをあてたドキュメンタリー調に仕上げてみましたので、是非ご覧いただきたいです。

この活動を支援してくださっている全てのスポンサーの皆様に感謝いたします。

